

「R8年臨時報酬改定・ 制度説明とこれから」

～どこに進むのか？報酬改定からみる
我が国の精神障害福祉の行方～

2026 **4.18(土)**

13:00～16:30

厚生労働省
による
制度説明

厚生労働省
と考える
精神障害者支援
のこれから

【ハイブリット開催】

対面会場：きゅりあん(品川区立総合区民会館)
6階大会議室

東京都品川区東大井 5-18-1

JR 京浜東北線・東急大井町線・りんかい線「大井町駅」徒歩約2分

オンライン：Zoomによる配信

3年に1度行われるはずの障害福祉サービス報酬改定が、1年前倒しされる形で一部の改定が行われることとなりました。国からのR8年度の臨時報酬改定は昨年12月に提示され、次年度の事業計画を立てていた事業所にとっては、寝耳に水とも言える突然の改定であり、事業計画の変更を余儀なくされる法人も少なくありません。

近年の障害福祉サービスは国が提示する改定内容に左右される形で、事業運営、利用者支援が行われ、障害当事者主体であるべき社会福祉の本来の姿が薄らぎつつあるとも言えます。更には、昨今マスコミでも騒がれている、障害者総合支援法の理念とは異なるサービス提供で営利を目的とした団体によるサービス量の増加や支援の質が課題となり、あみは国に要望書を提出しています。

本研修会は、厚生労働省による昨今の障害福祉の動向とR8年度臨時報酬改定の制度内容の説明を受けたのち、厚生労働省の方と地域事業者によるシンポジウムを行います。報酬によって支援現場が疲弊し、誠意をもって働く支援者に希望が見えづらい状況の中、R9年度の改定や今後の精神障害の特性に応じた制度設計には何が求められているのか等、意見を交わし我が国の精神障害福祉の行方を考える機会を設けます。ぜひご参加ください。

タイムテーブル

12:40	受付開始	会場での対面参加・オンライン参加ともに同時刻です
13:00	研修会開始	開催挨拶・オリエンテーション
13:15	制度説明 (60分)	R8年度 臨時報酬改定・我が国の障害福祉サービスの現状について 登壇者 厚生労働省 社会・援護局 生涯保健福祉部 障害福祉課 課長補佐 遠藤 径至 氏
14:15	休憩	
14:30	シンポジウム (110分)	「どこに進むのか？報酬改定からみる我が国の精神障害福祉の行方」 登壇者 厚生労働省 社会・援護局 生涯保健福祉部 障害福祉課 課長補佐 遠藤 径至 氏 吉田 耕一 氏 (NPO) 飛鳥会 事務局長 (東京都北区) 小佐野 啓 (NPO) あおば福祉会 あみ常任理事 (東京都杉並区) 進 行 内山 澄子 (社福)のうえい舎 あみ代表 (千葉県習志野市) ※参加者からの質疑・途中休憩あり
16:20	閉会挨拶	
16:30	研修会終了	

参加費

会員事業所・賛助会員 500円 (対面参加・オンライン参加)
非会員 1,000円 (対面参加・オンライン参加)

申し込み

※きゅりあんでの対面参加は定員100名のため、先着順とさせていただきます

以下のアドレス、もしくはQRコードより Peatix にてお申し込みください

<https://peatix.com/sales/event/4878116/tickets>



申し込み締切

2026年4月11日(土)

問合せ先

ガーデニング (近藤) TEL: 03-6908-0285 (平日 10~16時)